「ほこみちトライアルワークショップDAY」を開催しました

国道34号長崎市桜町～万才町の区間（約749m）が歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）に指定されたことを踏まえ、国道34号及び周辺（岬のエリア）の利活用方法について地域の皆様と共に考えていくため、第４回ほこみち長崎未来ワークショップとして「ほこみちトライアルワークショップＤＡＹ」を開催しました。

【日　　時】令和８年４月17日（金）、18日（土）の 11:00～19:00
【場　　所】国道34号ほこみち指定区間の歩道及び不動技研ながさき市立図書館前

【これまでの経緯と目的】

- 長崎ほこみちでは、令和６年２月からシンポジウム及びワークショップ（計３回）を実施し、地域の皆様と共に、ほこみち活用のアイディアや将来像について意見交換を行ってきました。
- これを踏まえ、令和６年12月の第３回ほこみち長崎未来検討委員会において、通りのコンセプト（素案）として「歴史を生かし新たな文化を創造する、季節感じるシンボルストリート～長崎四季快道～」が示されたところです。
- これまでの意見で挙げられた「ほこみちの使い方」や「通りのコンセプト（素案）」を踏まえ、今回、「トライアルワークショップ」として、実際に屋外に出て、ほこみちの使い方を可視化し、利用者（来訪者、出店者など利活用者の双方）のニーズを把握することを目的として実施しました。

【ほこみちトライアルワークショップDAY】当日の様子

ほこみちの使い方・過ごし方のイメージである【歴史・文化】【四季】【快い（こころよい）】が体感できるよう、様々な企画を実施しました。実際に、ほこみちの多様な使い方・過ごし方や活動が見られ、空間利活用のニーズがあることが確認できました。

【歴史・文化】

国道34号ほこみち、岬のエリアのまちづくりの掲示　（約１m×約５m）

エリアの歴史の掲示（約１m×約５m）

【四季】

休憩コーナー

四季を感じられる植栽

木陰・日陰（約２m×約２m）

【快い】

おはなし会（約３m×約６m）

催し物（約３m×約９m等）

キッチンカー（約２m×約５m等）

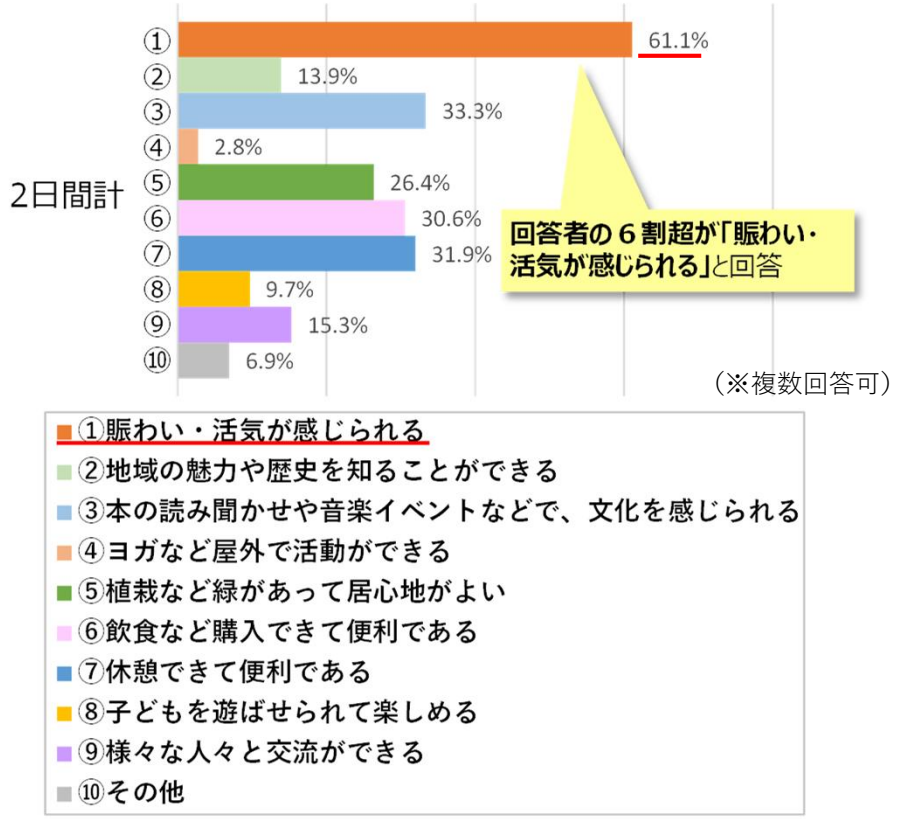
【国道34号ほこみちの風景】※道路占用許可により、歩道上にテーブル・イスを設置し滞留空間を創出　（滞留空間　各約１m×約２m）

【ほこみちトライアルワークショップDAY】実施結果

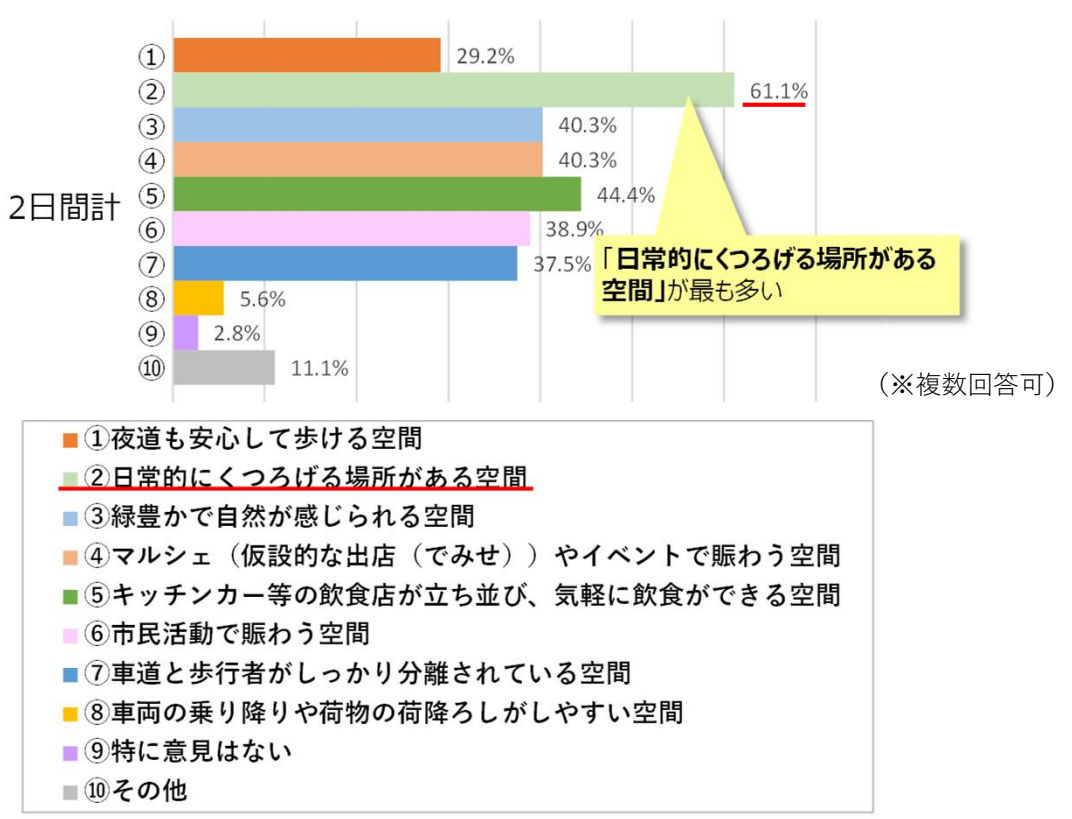
トライアルワークショップ実施にあわせて、来訪者等へのアンケートを実施しました。回答者からは今回のワークショップに対して「賑わい・活気が感じられる」等の好印象な意見が寄せられたほか、将来イメージとして「くつろげる空間」や「緑豊か」など、景観と実用性の両方を重視する意見が寄せられました。今回の貴重な意見を踏まえ、引き続き、空間利活用や設計等の検討を進めていきます。

（※各種アンケート結果の詳細は別紙参照）

▼ワークショップの印象について



▼国道34号「ほこみち」が将来どのような空間であってほしいか



ほこみちの概要や、ほこみち長崎未来検討委員会の詳細についてはこちらをご覧ください。
長崎河川国道事務所ホームページ（ほこみち長崎未来検討委員会）
https://www.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/road/shisaku/hokomichi.html